

令和4年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493200057	事業の開始年月日	平成18年11月1日
		指定年月日	平成18年11月1日
法人名	ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホームみんなの家横浜上白根		
所在地	(〒241-0001) 神奈川県横浜市旭区上白根町9 7 7 - 3		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		エント数	2エント
自己評価作成日	令和4年11月20日	評価結果 市町村受理日	令和5年8月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>コロナ渦にあり散歩や外出支援が行われませんが、ホーム内でのレクリエーションに力を置いている。 お誕生日会やおやつ作り行事を設け、刃物を使える利用者様には材料を切って頂いたり、焼き物のできる人に焼いて頂いたり付き添いながら作って頂いています。</p>

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町2 3 日土地山下町ビル9 F		
訪問調査日	令和5年4月12日	評価機関 評価決定日	令和5年6月24日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>【事業所の概要】 この事業所はJR横浜線及び市営地下鉄グリーンライン中山駅または相鉄線鶴ヶ峰駅からバスに乗車、最寄りのバス停から徒歩7分程の場所に立地している。2階建て鉄骨建築の事業所の前庭や玄関先には、パンジーなど四季の花々が植えられている。また近隣には緑豊かな白根大池公園があり、季節を感じられる。白根大池公園からは、子供たちの楽しそうに遊ぶ声が聞こえている。事業所は、AEDと1階の浴室に機械浴の設備を整えている。</p> <p>【看取り介護の支援と理念の実践】 今後も利用者の重度化などが予想されることを踏まえ、全体会議で職員から上がった理念の見直しについて検討し、新しく「1.利用者様をより良く知り個々のニーズに寄り添う 2.居心地のよい笑顔あふれる楽しいホーム」というふたつの理念をつくり職員間で共有している。開所当時からなどの勤続年数の長い職員が半数を占め、看取りを経験している職員も多く、職員間でコミュニケーションを図りながらケアに取り組んでいる。今年度は、4名の看取りを経験し、現在、3名の看取り介護の支援に取り組み、コロナ禍でも家族等の面会を受け入れている。看取り期には、ひとりで居室にすることが多くなることから、本人の気分がよさそうな時にはフロアで過ごす時間を設け、利用者のニーズに寄り添ったサービスを提供し、理念を実践している。</p> <p>【利用者の思いを把握し外出できない替わりに楽しめる企画を実施】 職員は、入居前に利用者の住環境や生活歴を確認している。入居後は、日常会話の他、職員と2人になれる入浴や玄関先での日光浴をきっかけにして、利用者の思いや、やりたい事などを探っている。把握した情報は、カンファレンスで共有し、介護計画に繋げケアに活かしている。意思疎通の困難な方には、利用者の表情が切り替わる瞬間を見逃さないようにして支援している。散歩など外出がしたい利用者の思いを把握し、コロナ禍で控えている外出の代わりに、法人の健康増進課職員によるリモート体操やヨガなどを積極的に導入して体を動かし、気分転換を図っている。おやつレクでは、お好み焼き、ケーキのデコレーション、桜餅作りなどを実施して、事業所内での楽しみを増やす工夫しながら支援している。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	GH横浜上白根
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

事業所名	Gh横浜上白根
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔あふれる」活動的なホームに沿って、利用者様の心に寄り添い笑顔になれるように努力しています。	事業所の理念「1、利用者様を良く知り個々のニーズに寄り添う 2、居心地の良い笑顔あふれる楽しいホーム」を掲げ、玄関に掲示し周知している。職員は、利用者それぞれの意向の把握に努め、おやつ作りなど利用者が笑顔になれる行事を検討・実施して、利用者へ寄り添ったサービスを提供している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進委員会に参加して頂き地域に情報、ホーム情報等意見交換をしている。 (新型コロナウイルスの為中止)	上白根自治会に加入し、地域の情報を回覧板で得ている。地域ケアプラザ主催の福祉フェスタへの参加や、恒例の近隣中学校生徒の職業体験学習、腹話術のボランティアの受け入れは、コロナ禍で中断している。定期的に事業所の駐車場にパンの移動販売と移動スーパーが訪れており、その際に買物に来る近隣の方と挨拶を交わす等で交流している。日常的に交流している民生委員などの経歴がある隣家に住むオーナーから、地域の情報を得ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域貢献の目的として他施設と共同し「福祉フェスタ」に参加しています。 また、グループホームのパンフレットを置き知って頂いてます(新型コロナウイルスの為休止)		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回地域の方、地域包括センター、民生委員に参加して頂き活動報告し要望、助言をいただいています。 (新型コロナウイルスにて休止)	運営推進会議は、コロナ禍で開催できず、2か月に1度、中止している旨を記載して「運営推進会議開催報告書」を旭区の担当部署に送付している。長期の中止に伴い、メンバーだった方や担当者の変更があり、家族等の参加も含めたメンバーを再任して、会議を開催する意向としている。	運営推進会議を中止するのでは無く、対面での開催が叶わない場合は、書面開催に変更して参加者の意見を聴取しサービス向上に活かすことを期待します。家族等も含めたメンバーの再任を早急に行い適正な会議運用となることを期待します。

5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護課の方の訪問や窓口に出向き、ご相談に行っています。	旭区高齢・障害支援課への連絡は主に電話連絡で、運営推進会議の報告書の送付や不明点の確認をしている。生活支援課の職員とは、生活保護費を受給している利用者との面談で担当職員が来所の際に連絡を取り合っている。地域包括支援センターからは、福祉フェスタなどの催事の連絡をもらう事がある。	
---	---	--	-------------------------------	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業員への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる	2ヶ月に一回「身体拘束委員会」を設け、資料、チェック項目を元に意識の向上を図っています。	「身体的拘束等の適正化の為の指針」を定め、身体拘束廃止委員会を概ね、奇数月に開催している。研修は、法人が発信するテーマに基づいて実施し、「身体拘束による減算のための理解度テスト」などを行っている。全職員参加を基本とし、参加できなかった職員には、個別で話をしている。「身体拘束ゼロ推進」のポスターを事業所内に掲示し注意喚起している。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	2ヶ月に1回「虐待防止委員会」を設け資料、チェック項目等活用し意識の向上を図っています。	「高齢者虐待防止の為の指針」を定め虐待防止委員会を概ね、偶数月に開催している。「高齢者虐待防止のためのセルフチェック」を行い、その結果を2か月後の会議開催時に確認している。管理者は、職員のストレスが虐待につながる事を理解しており、言葉づかいが平素よりきつくなっている場面を察知して、該当職員に休暇を薦めるなどの対応をしている。「私たちは虐待を見逃しません」のポスターを事業所内に掲示し注意喚起している。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を開くなど職員意識を持って自己啓発に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に契約書の見本をご家族様に送付し、ご確認頂きます。再度入居時に契約内容を説明を行い入居して頂いています。		

10	7	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様の要望やご家族様の要望を面会時に伺っています。</p>	<p>毎月、個々の往診の様子や写真、事業所への意見聴取の文章を掲載した「一言通信」を家族等に送付し、利用者個々の様子を伝えている。また、毎月8回程、ブログを更新し事業所の近況を発信している。家族会は、コロナ禍で中断している。家族の意見・要望は、電話連絡時や専門医への同行で来訪した際などに把握している。面会を希望する声が多く上がり、リモートや窓越しの面会を検討したが、プライバシーを保てる場所の確保が難しく、希望に沿う事ができない旨を家族等に伝えている。看取り期の利用者の家族は、感染対策を施し居室で面会をしている。調査訪問時は、気候が良くなってきたこともあり、玄関先やベランダでの面会を実施していた。</p>	
----	---	--	------------------------------------	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月全体会議を行い、意見交換をしています。	職員の意見・提案は、管理者が日々の会話や毎月の全体会議、個人面談などで聞き出し運営に反映している。会議は全員参加が基本であるが、参加できなかった職員には、口頭での伝達やLINEなどを利用して内容を共有している。職員の意見の反映は、ケアに関する物品購入などが主である。シフトの変更は、職員間で調整する事を許可している。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の希望を受け入れシフト作成もしています。	人事評価は、職員が行った自己評価を基に管理者が一次評価し、本部のエリアマネージャーが二次評価を行うシステムとなっている。個人面談を年2回実施し職員の意見などを聞いている。介護福祉士資格取得者は、手当が支給される。有給休暇は消化できる体制である。休憩室はないのでスタッフルームや台所で休憩している。管理者は、職員の疲労やストレスの要因について気を配り、職員同士の人間関係の把握に努めている。勤続年数の長い職員が事業所職員の半数程在籍し、普段からコミュニケーションが図られている。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内にはスキルアップ研修、資格取得制度もあり、事業所職員も大半が「介護福祉士」を取得しています。	法人の資格取得制度があり、オンライン研修を受講し、介護福祉士などの資格を取得している。事業所内でのリーダー育成プランがあり、管理者が上長に相談して、スキルアップできるよう取り組んでいる。新人職員に対しては、マンツーマンのOJT体制をとり、力量に応じた期間を設け、丁寧な指導を心掛けている。	

14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	新型コロナウイルスの為休止		
----	--	---------------	--	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様の気持ちに寄り添い傾聴し、寂しい不安を取り除き、ホームでの生活が出来るようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	コミュニケーションをとりまめに情報をお伝え安心して頂けるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様と事前に確認を行い希望を確認してます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の「出来る事、出来ない事」を見極めながら家事の中で一緒に行うように努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月「一言通信」で「行事」の協力やお誘いを行いホームとご家族様と共に利用者様を支えられる機会を提供しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームに連絡がご友人から連絡があった場合はご家族様に確認を行いお話しています。	入居時のアセスメントや家族からの情報で、利用者の生活歴や馴染みの関係を把握している。友人からの電話や手紙の取り次ぎ支援をしている。従来からの習慣で、コーヒーを愛飲する方、新聞に目を通す方がいる。重要事項説明書に「かかりつけ医の許可がある場合に限り、指定の場所で飲酒、喫煙できる」を明示しているが、現在、希望者はいない。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクや行事に参加し利用者様どうしコミュニケーションを取れるようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたときには連絡をとり、困りごとが無いか確認し行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	言葉にならない利用者様や思いを伝える事の苦手な利用者様には表情や仕草から意向をくみとり支援しています。	職員は、入居前に住環境や生活歴を確認している。入居後は、日常会話の他、職員とふたりになれる入浴時や玄関先での日光浴をきっかけに利用者の思いを聞く機会も多く、利用者のやりたい事などを探っている。把握した情報は、カンファレンスで共有し、ケアに活かしている。意思疎通の困難な方には、表情が切り替わる瞬間を見逃さないようにして意向の把握に努め支援に繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴、趣味、性格等ご家族様から提供して頂き把握し日常生活に生かせるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	健康状態や日々の変化等ノートや口頭での送りで共有し、現状把握に努めています。		
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の変化や必要時カンファレンスを行い話し合うようにしています。	介護計画は、3か月に1度行うモニタリングの課題確認を基にニーズを把握し作成している。利用者・家族の要望や医療関係者の意見も反映している。短期目標は3か月、長期目標は6か月ごとに見直し、状態に変化があれば随時見直している。介護計画のサービス内容の番号を「生活記録」に記載して実施状況を把握し、モニタリングに活かしている。	

27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>申し送りノートに記録し共有しています。急を必要とするものは臨時カンファレンスを行い改善に努めています。</p>		
----	---	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ホーム内で行える、イベントやレクを考え、利用者様に楽しい時間を過ごせるように支援しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルスの為出来ていません。		
30	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回内科往診に来ていただいています。 また、ご家族様の要望に応じ外部受診も行っています。	利用者全員が協力医療機関と契約して（内科・歯科）月2回の訪問診療を受けている。歯科衛生士は、毎週来所し口腔ケアなどの指導をしている。専門医への受診は、家族付き添いによる通院を基本としている。受診結果は「通院報告書」に記入し共有している。家族が対応できない時は、職員が同行している。訪問看護師が月4回訪れて利用者の健康観察をしている。現在は、特別指示による褥瘡の処置で毎日来所している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月4回医療連携で来ていただき、ご利用者様の体調管理をして頂いています。		

32	<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は病院に連絡、面会を行い、状況把握に努めています。</p>		
----	--	-------------------------------------	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医との連携を図り、「看取り」「終末期」を迎えるにあたりご家族様と話し合いを持ち方針を共有しています。	契約時に看取りを行う事業所であることや緊急時は「看取りに関する事前意志確認書」に沿って行うことを説明している。医師が終末期と判断した際に「ALSOK介護の看取りに係る指針」を基に看取りの考え方や介護の流れなどの説明を家族にして「看取り介護および加算についての同意書」を得ている。管理者の指導のもと今年度は、4名の看取りを経験し、現在3名の看取り介護に取り組んでいる。看取り後に口頭で申し送りを行っている。また初めて看取り介護に携わった職員には、管理者が個別に話を聞くなどしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者様の身体状態の急変、事故発生時に備えいち早くの発見とかかりつけ医の指示のもと心肺蘇生など訓練を受けています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な避難訓練を行っています、	夜間を想定した火災などの避難訓練を年2回実施している。飲料水以外の食料備蓄は切替え中で、業者から毎日届く日常食のチルド食品2日分と米を準備している。他にはカセットコンロなどの生活備品や衛生用品などを確保している。事業所の所在地が、洪水やがけ崩れの想定区域であるのかの確認をして、「自然災害時における業務継続計画」を作成している。	災害用備蓄食品の切替えで、今月中の入荷予定になっていますが、今、災害が発生しても対応できるよう、備蓄品管理の充実を期待します。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けの工夫、対応などを職員間で話し合い行っています。	居室の扉は、室内から自由に施開錠でき、プライバシーが保てる。トイレ誘導の際は、他の利用者のいる前ではトイレと言わないように心掛けている。訪問医の診察は通常リビングで行うが、利用者の状況によっては居室で行っている。写真や動画等の使用に係る承諾について「個人情報使用等同意書」を家族等と交わしプライバシーを損ねないようにしている。職員や利用者の個人情報に該当するものは、施錠してロッカーに保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思表示の出来ない利用者様の表示や発信を見逃さないようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	無理強いせず、ご利用者様のペースで生活をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	意思疎通が難しい方は、同じ服にならない様にしています。		

40	18	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の準備などは職員で行っていますが、食後の食器拭き、お盆拭きなどのお手伝いをお願いしています。</p>	<p>食事は、専門業者の献立に基づいて配送される主菜や副菜を湯煎し提供している。ご飯と汁物は職員が作り、刻み食などに対応している。季節行事に合わせた食事や麺類が献立に組み込まれている。通常の献立を止めて、うなぎ等、利用者の好む食事に変更する事もある。また、ケーキのデコレーションや桜餅、お好み焼きなどを作る「おやつレク」を行い、利用者が食事を楽しめるよう工夫している。利用者は、食器拭きやお盆拭き等、できる事を手伝って、それぞれの力を発揮している。</p>	
----	----	--	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を活用し、食事量、水分量を把握し低下していた場合は主治医に相談しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科往診月2回、歯科衛生士月4回来て頂いています。毎食後はご自分で歯磨きをして頂き、難しい方は職員介助で行っています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、排泄パターンやシグナルを掴みさりげなく声掛けをしています。	個々のパターンを把握した「排泄チェック表」に基づく定時誘導や、仕草などに基づく声掛けを行い、トイレでの排泄を支援している。夜間は、転倒防止に配慮してポータブルトイレを使用する方や、入眠剤を服用している方がおむつを使用する等、特性に合わせて対応している。紙パンツを使用している方が布パンツ使用に改善する等の事例は乏しいが、失敗しても自尊心を保ちながら現在の状態を維持できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取に努め状況把握に努めています。		

45	20	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>利用者様の状態に合わせて入浴日を決め、ご利用者様のペースで行っています。</p>	<p>週2～3回、午後に利用者のタイミングに合わせて入浴できるよう支援している。入浴を好まない利用者には、その方の発するシグナルを見逃さないようにして誘導し、入浴に繋げている。現在、同性介助を希望する方はいない。利用者は、職員とゆっくり話ができる時間を共有し楽しみながら入浴している。季節の柚子湯や入浴剤を使用して香りの変化を楽しんでいる。ヒートショック対策を施している。1階浴室のリフト浴は、現在、5名の方が利用している。</p>	
----	----	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中にご利用者の状態に合わせて休まれている方もいます。 夜間はトイレの声掛けの際は、時間をみて声掛けを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医、薬剤師との連携し服薬指導を受け相談をしながら支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お掃除、洗濯物畳などご利用者様と一緒にやるようにしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルスの為行う事が出来ていません	天気の良い日には、建物の周囲の散歩の他、玄関先やベランダで外気浴をしている。家族が同行する定期通院等の際に外食や散歩に出かける方がいる。利用者が楽しみにしている駐車場でのパンの移動販売や移動スーパーの物品購入は、自らが好みものを選んで支払いをする機会にもなっている。法人の健康増進課職員によるリモート体操やヨガなどを積極的に導入して、利用者の運動不足を補い、気分転換している。	

50		<p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>移動パン屋、スーパーなどで必要な物を購入できるようにしています。</p>		
----	--	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様と電話で話しが出来る環境を作るようにしています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビを観たり、塗り絵を行ったり、自由に過ごされています。	共用空間に差し込む日差しは、カーテンで調整している。現在、光や音で不快を訴える方はいない。温度調整に配慮し、冬季は加湿器を使用している。リビングの壁に桜の花の貼り絵などを飾り、玄関先にパンジーなどの草花を植えて、季節を感じられるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様同士会話、テレビをみてお話ししたりしています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビ、仏壇を置いたり使い慣れたタンスを使用しています。	事業所で備え付けている物は、洗面台、エアコン、照明、防災カーテン、クローゼット、整理ダンス、ベッド、寝具一式である。仏壇、写真、椅子、テレビ、カレンダーなどの思い出の品や好みの品が持ち込まれている。持ち込み品の少ない方もいて、個性のあるそれぞれ違った雰囲気のある居室となっている。	

55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	認知も重度化し今は危険把握 な為リスクを考慮し見守りを 重視し活動している。		
----	--	---	--	--	--

目 標 達 成 計 画

事業所名 GHみんなの家横浜上白根

作成日 令和5年8月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を生かした取り組みについて	・対面開催を行う。	・地域包括、オーナー様などにお声を掛ける。 ・ご家族様にも参加して頂ける様にイベントに合わせて行う。	6ヶ月
2	16	災害対策について	・備蓄の管理表を作成。 ・備蓄の消費期限の確認。	・備蓄品の補充、入れ替えを行う。 ・備蓄品の管理表を分かりやすい所に掲示を行う。	6ヶ月
3					
4					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。